



工事現場の労働災害ゼロを目指して！

～工事安全対策協議会小国支部10月安全パトロールを実施～

飯豊山系砂防事務所工事安全対策協議会では工事の労働災害等を未然に防止することを目的として、安全パトロールを毎月1回実施していますが、小国支部では平成29年10月30日(木)に第5回安全パトロールを3現場で、受注者発注者合わせて12名で実施しました。

◆現地点検箇所

- ・森残川第3号砂防堰堤その2工事
- ・戸沢川砂防堰堤その2外工事
- ・入山砂防堰堤補強対策工事

◆現地安全点検

安全パトロールでは、参加者全員で施工中の工事の危険ポイントを確認すると共に、意見が出された現場については検討を行い、良い事例は他の工事現場でも積極的に取り入れることとしています。



◆現地点検結果の報告

安全パトロール終了後、参加者から出された主な意見は以下のとおりです。

- 確認事項
- ・緊急資材倉庫及び資材置き場への通路が確保されていない箇所があり。タラップ等を設置し安全にアクセスできるようにする。
 - ・敷鉄板の上が落ち葉で滑りやすくなっているので注意すること。これから降雪のシーズンとなるため車両重機のスリップ対策が必要。
 - ・仮締め切り等の洗掘などに対する点検を徹底すること。・高所作業となる箇所での安全帯使用の徹底をすること。
 - ・法面の崩壊・落石による事故を防ぐため、作業前に地山の点検を徹底すること。
 - ・床堀を行った箇所にバリケード等が設置されていないため、掘削箇所の立ち入り禁止を確実に実施する。
 - ・避難経路の確保を各施工段階で確実にを行うこと。進捗に応じて経路や避難方法も随時変更となるため見直しを行う。

11月に入り夕方暗くなるのも早くなり寒くなってきました。土石流や出水に対しての対策・法面の点検に加え、暗くなった足元の対策や降雪時の対策などについても現場内だけでなく工事用道路も含めて再確認をお願いします。
・各工事共降雪前の追い込み時期となってきました、なお一層「安全対策」を心掛けてください。